

ちよふの教育



No.82
3/20

令和3年(2021)

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2020-157)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

調布市立学校 一人一台端末へキックオフ!



令和の時代のスタンダードな学校

文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、調布市教育委員会では、市立小・中学校の児童・生徒全員に対し、一人一台のモバイル端末の配備を令和3年1月に終えました。

今後、モバイル端末を授業において活用することで、児童・生徒一人一人に応じた個別最適な学習、ICTを介した友達との協働による学習、様々な情報や人々とつながる交流学习、持ち帰りによる家庭での学習の展開など、子どもたちの学習の幅が大きく広がります。

保護者の声

- 学習活動から、係活動のようなものまで、子どもが積極的に活用するようになりました。
- これからの時代に効果的であると思います。
- 正しい活用ができることを期待します。

子どもたちの声

- 毎日持ち帰ることができるので、便利だと思います。
- タブレットを使って宿題をすることができるところがいいです。
- 授業の時にすぐに調べることができます。

先生たちの声

- 文房具としてモバイル端末を使用できることは教育に非常に効果的です。
- 子どもたちと一緒に、教師も学んでいきたいと思っています。

端末紹介

小学校

iPad



ケース



有線キーボード



中学校

Chromebook

タブレット型、ノートパソコン型のコンバーチブルタイプ



GIGAスクール構想とは

1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等のICT環境を整備することにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育を実現するための構想です。

問合せ/指導室 ☎481-7480

学校の新しい生活様式

コロナ禍における食育指導について

配膳の際は距離をとる、前を向いて静かに食べるなど今までとは違う給食の時間が続く中、モバイル端末や校内放送等を活用し、コロナ禍においても各校で工夫しながら食育指導を行っています。調布市ならではのゲゲゲ忌献立や、子供たちが親しんでいる本にちなんだ料理、オリンピック・パラリンピック教育の一環として日本の郷土料理や世界の料理などを取り入れ、給食内容の充実も図っています。市ホームページでは、給食のレシピを公開していますので、ぜひご覧ください。

問合せ/学務課 ☎481-7476



第一小学校 120周年



「記念マスコット「ひばたん」」

第一小学校は開校120周年を迎えました。全校児童から募集し、お祝いする言葉「120周年 時代をこえても 心を一つに」、マスコット「ひばたん」を決め、学校の周年を皆でお祝いしました。記念集会は感染症対策を講じ、校内テレビ放送で実施しました。集会の最後には児童から歌詞を募集し、音楽の先生が作曲した「未来」を歌いました。



記念集会を校内テレビ放送で実施

多摩川小学校 50周年



「記念マスコット「たまごわ」」

多摩川小学校は開校50周年を迎えました。記念集会では感染症対策のため、放送や動画配信による学校の歴史クイズ・ダンス・記念マスコットの絵描き歌や記念動画「風船に夢と希望をのせて」を各教室で楽しみました。集会の最後は、全校児童の代表として6年生が校庭で密とならないよう距離を保ちながら、バルーンリリースを行いました。



距離を保ちながらバルーンリリースを実施

令和2年度 調布市教育委員会表彰

毎年、学習やスポーツ、文化活動などで他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒・団体の功績をたたえ、表彰を行っています。令和2年度分37件、令和元年度分1件（児童・生徒・団体）が表彰の対象となりました。 問合せ／教育総務課 ☎481-7465

被表彰者一覧（令和3年2月24日時点）

表彰理由等、詳細は市ホームページをご確認ください。

●令和2年度分	鮎川 大輝(第三中)	内田 紗椰(第三小)	水上 青葉(飛田給小)	浅野 逢里・	かるがもクラブ
鈴木 愛理・	佐藤 琴美(第三中)	隠田 悠人(上ノ原小)	水上 若葉(飛田給小)	池本 奈緒(第三中)	(第一小ほか)
鈴木 暁梨(若葉小)	宇多川 怜(第二小)	芹田 琉可(上ノ原小)	安川 千杏夢(飛田給小)	濱名 亜也(第三中)	高林 花凜(第五中)
小林 兼輔(八雲台小)	東 滯生(第三小)	寺尾 莉彩(上ノ原小)	横川 和泉(飛田給小)	明石 侑奈(第三中)	第五中学校ボランティア
石川 大(滝坂小)	森山 勇翔(第三小)	池上 綾音(若葉小)	川岸 玉枝(国領小)	鮎川 桃佳・	アダンス部(第五中)
黒田 一瞭(上ノ原小)	内田 圭紀(第三小)	黒川 奏翔(北ノ台小)	酒井 玲菜(杉森小)	山口 采実・	●令和元年度分
石崎 莉子(布田小)	清水 愛里咲(第三小)	飯山 凜(多摩川小)	大岡 虹瑛(神代中)	山上 瑠奈・	比留間 美尋(第三中)
石崎 美陽(布田小)	鈴木 稜河(第三小)	安部 颯川(多摩川小)	榎村 せいあ(神代中)	山崎 優和(第三中)	

新教育委員会委員の紹介

委員 福谷 文夫

令和2年10月1日付で教育委員会委員に任命されました。任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日



「教育のための社会」を目指して

昔も今も学校現場は大変です。子どもは社会の鏡と言われますが、社会が抱えている多くの問題が学校現場に影をおとしています。私自身、中学校の教員として30年余り勤めて来ました。かつて読んだ本において、著名な教育学者が、学校に社会が抱える問題が次から次へと持ち込まれていると指摘していました。現在、特別なニーズ教育である「インクルーシブ教育」しかり、ITを活用した授業しかり、部活動の指導しかりですが、学校の教育現場、とりわけ教員にその負担が強いられていると思います。「子どもは未来からの使者である。」「教育の目的は子どもの幸福である。」「いずれも私が尊敬する教育者の言葉です。戦後の教育が「社会において教育の果たすべき役割」を問うたのに対し、むしろ教育における社会の役割が問われるべきです。「教育のための社会」という視座が重要ではないだろうかと考えます。

委員 榎本 竹伸

令和2年10月1日付で教育委員会委員に任命されました。任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日



自立し豊かで充実した人生を目指して

私は、不登校やひきこもりの子ども・若者たちと長年かかわってまいりました。不安を抱え、社会の中に自分の居場所がみつからず将来への展望が描けない。疎外された孤立状態の中で、日々を送っている子ども・若者たち。しかし、雪解けを待つかのように時間をかけしっかり寄り添う事で、彼らは自分を大切にし希望を持ち勇気を持って進んでいきます。そんな姿をいつも近くで応援しています。さて、良好な教育環境、質の高い教育の機会の有無は、人生に大きな影響を与えるものです。教育の本質的な役割は、子どもたち一人一人が、将来、自立し豊かで充実した人生を送れるよう、基本的な学力、社会を生き抜く力を身に付け、自らの意思で幅広く可能性のある人生選択の機会を保障することにあると考えます。教育委員として、微力ながらこれまでの経験を生かし、創造力を持って尽力して参ります。どうぞ宜しくお願いいたします

委員 千田 文子

令和2年12月22日付で教育委員会委員に任命されました。任期：令和2年12月22日～令和6年12月21日



「子どもたちの健やかな成長を願って」

私は、公立小学校の管理職を辞した後、調布市教育委員会で教育支援コーディネーターを約6年間勤めてまいりました。たくさん子どもたちや保護者の方々の相談に乗ったり、学校を訪問して先生方とお話ししたりしていました。そこで感じたのは、ICT機器の導入や小学校の英語科等々の世の中の流れの速さに加え、コロナ禍への様々な対応もあり、子どもたちを取り巻く環境が急激に変化しているということです。そこには課題も多くなっており、油断すると取り残されたり流されたりしてしまいかねません。調布の子どもたちには心身ともに健やかに成長して欲しいと願っています。そのためには、大切なことは見失わず必要なことはしっかり育てていく調布の教育でありたいです。不易と流行をしっかり見定め、微力ながら努めていきたいと思っております。

教育随想

きょういくずいそう

校長先生に日ごろ感じている思いをお聴きしました。

一人一人を大切に育てる仕事

上ノ原小学校長 寺本 喜和



上ノ原小学校は現在、児童数978名のとても大きな学校です。赴任した当時は、児童の顔や名前など分からない状況でしたが、今は、どの学級にどんな児童がいるのか、一人一人の様子がかなり分かってきました。「今日は○○さん、元気かな？」等と考えながら教室を見て回るのが私の日課です。一人一人をよく見つめると、日々変容し成長する姿を発見します。子どもたちのキラキラと輝くまなざしに出会うと、その日一日がとても素晴らしい一日に感じられます。全ての児童にとって学校が楽しい学びの場となるように働いています。校長になって直接児童の授業を行ったり、直接何か教えたりすることは少なくなりましたが、学校の教職員を育成することを通して、子どもたち一人一人の成長のために働いていると自負しております。特に若い教員が先生として成長し、子どもたちのために立派に働く姿を見ることはとてもうれしいことです。

啐啄同時

若葉小学校長 渡邊 桂子



「啐啄同時（そったくどうじ）は教育の原点なり」教員になりたての頃、恩師から教わった言葉です。卵の中の雛鳥が殻を破って生まれ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がコツコツとつつくことを「啐」といい、ちょうどその時、親鳥が外側から殻をコツコツとつつくのを「啄」といいます。雛鳥が内側からつつく「啐」と、親鳥が外側からつつく「啄」が同時に行われた時、はじめて殻が破れて中から雛鳥が誕生するのです。教師は、子どもの学びを見取る眼差し、子どもの心の声を聴き取る感性を研ぎ澄ますことが大切です。子どもが、学ぼう、伸びよう、自立しようとするその機を逃さず、学校・家庭・地域が協働で教育活動を行うことで、子どもはより豊かに成長すると思えます。常に学校に寄り添い支援していただいた保護者・地域の皆様は心より感謝申し上げます。

古人の教え

第六中学校長 白倉 美智



室町時代に能楽を大成した世阿弥（ぜあみ）が、その書物『花鏡』の中で、「初心忘るべからず」の句には3つの口伝があると述べています。1つめは「是非とも初心忘るべからず」。これは修行を始めた頃の未熟さを忘れるな、ということ。2つめは「時々の初心忘るべからず」。これは修行の段階ごとに、各々の時期の初心、つまり、その時期の芸の未熟さを忘れるな、ということ。3つめは「老後の初心忘るべからず」。これは年をとってくると自分が熟練者のように思うがそうではない。年をとったら自分が未熟であることを忘れるな、ということだそう。中でも、最後の「老後の初心忘るべからず」が最も心に響きます。まだまだこの境地に達していませんが、新型コロナウイルスの猛威の中、人としての在り方、社会としての在り方が日々問われている時だからこそ、何百年も前の先達の言葉にじっくり向き合いたいと思う今日この頃です。

☆おうちでも としょがんでも☆ 図書館のイベント

☆めいっばいたのしんでね!☆

調布市立図書館公式
キャラクター じろ

調布市立図書館では図書館の内外で楽しめるイベントを実施しています。
「ブックエストオンライン」は図書館のホームページから楽しめるコンテンツです。えほんに関するクイズを解いて、公式キャラクター「じろ」と一緒に冒険しましょう！他にもめりえやすごろくなどがホームページからダウンロードできます。
深大寺分館では「じろ」の似顔絵を募集しました。個性豊かで素敵な似顔絵が集まりました。富士見分館では「がちゃべんとう」イベントを実施しました。参加者は、ガチャガチャから出てくるおにぎりやおかずを集め、自分だけのお弁当を作って楽しんでいました。（似顔絵、がちゃべんとうのイベントは終了しています。）

今後も図書館では感染症対策を徹底しながら様々なイベントを実施します。ツイッターやホームページ、館内ポスターでお知らせいたしますので、どうぞお気軽にご参加ください。
皆様のご参加をお待ちしております！

問合せ/図書館 ☎441-6181



▲レトロなドット絵が特徴のブックエストオンライン



▲「がちゃべんとう」で作れたおべんとうの例



▶集まったじろの似顔絵

調布の文化財

史跡下布田遺跡整備基本計画の策定

下布田遺跡は、今から2800年前の縄文時代から弥生時代へと移行する縄文晩期の重要遺跡として、昭和62年に国史跡に指定されました。現在、市内では貴重な布田崖線の自然とともに約12,000㎡の範囲が史跡として保存されています。

将来の史跡公園開園に向けて、平成31年に整備の基本理念となる保存活用計画を策定し、今回さらに整備内容の具体化を図るための整備基本計画を策定します。本計画では、史跡公園の整備テーマを「みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと」とし、市民協働事業として史跡の保護、活用等を推進します。縄文時代の精神世界、暮らしを体感し、多様な学びや発見へとつながる、市民の憩いの公園が実現できるよう整備事業を進めてまいります。



問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」の開催

郷土博物館では、教育普及事業の一環として郷土学習展を毎年開催しています。小学校3年生社会科の自分たちの暮らしている地域の昔の暮らしや、当時使われていた道具の調べ学習に対応した内容です。



▲昭和40（1965）年頃に居間や台所で使われていた道具

展示コーナーでは、郷土博物館の民俗資料を活用して、江戸時代の道具から昭和の電化製品まで道具の変化を紹介しています。同じ用途の道具でも、昔と今では形や使い方にも違いがあります。電気がなかった頃の昔の暮らしに思いをめぐらせながら、どうぞご覧ください。

- 開催期間 令和3年1月13日(水)～5月16日(日)
※会期中、展示替えあり
- 会場 郷土博物館1階展示室
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 入場料 無料
- 休館日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)
※新型コロナウイルス感染症対策のため、利用の人数・サービスを制限して開館しています。状況により、開催内容の変更をする場合がありますので、詳細は市ホームページをご覧ください。

問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

中学校の新学習指導要領

令和3年度から、中学校では新学習指導要領が全面实施となります（小学校は令和2年度から全面实施となっています）。

新学習指導要領には、「未来の予測が困難な時代の中で、社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質・能力を身に付ける」という思いがあります。

各学校では、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的な思考力「プログラミング的思考」を育成する学習の充実や、高等学校卒業までに外国語でコミュニケーションができるようになることを目指した外国語教育の充実など、新学習指導要領の趣旨の実現を目指して、特色ある教育活動を行っています。

問合せ/指導室 ☎481-7480

教育に関するさまざまな支援や相談を行っています

来所相談

3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。

【ご相談内容の例】

- 友達とうまくいかない、集団になじめない、落ちつきがない、学校に行きづらいなど、お子さんについての心配ごとの相談
- 心理相談員による相談やプレイセラピー

問合せ/教育相談所 ☎481-7633

電話相談

専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。お気軽にお電話ください。

【受付時間】

平日午前9時～午後5時15分
(土・日曜日、祝日を除く)



問合せ/教育相談所 ☎481-7777

適応指導教室「太陽の子」

不登校又はその傾向が見られる小学生を対象にして、適応指導教室「太陽の子」を設置しています。太陽の子では小集団での学習活動等を通して、社会的自立に向けた集団生活への適応力を育みます。

問合せ/指導室 ☎481-7718

就学相談

通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための就学相談を行っています。

【ご相談内容の例】

- 特別支援学校、特別支援学級への就学や転学
- 校内通級教室、きこえ・ことばの教室への入級相談

【就学相談（令和4年度入学）のご案内】

令和4年4月入学予定のお子さんで、市立小学校に設置されている特別支援学級・通級指導学級及び校内通級教室への入級や、都立特別支援学校への入学を希望される場合は、就学相談へのお申込みが必要です。お早めに保護者の方から教育相談所にお電話ください。

問合せ/教育相談所 ☎481-7634

教育支援コーディネーターと スクールソーシャルワーカーによる相談

家庭や学校を支援しながら、教育全般についてのご相談を受け付けています。

【ご相談内容の例】

- 「太陽の子」の利用、「はしうち教室」の入室相談
- 登校しぶりや不登校の相談
- 教員の対応についての相談
- 友達とのトラブルなど学校生活での悩みや不安の相談
- 家庭訪問をして不登校児童・生徒に対応
- 子育て不安のある保護者への寄り添い

問合せ/指導室 ☎481-7718

分教室型不登校特別校 調布市立第七中学校「はしうち教室」

「はしうち教室」は、文部科学省の認可を受け、独自の教育課程で学習する学びの場です。不登校の中学生の社会的自立を目指し、指導を行っています。



【特徴】

- 小集団の学級編制
- 午前3単位時間・午後2単位時間の授業を基本とし、生徒の実態に応じたゆとりのある時間割
- 生徒の学習状況に対応した「個別学習」の授業
- 得意とする表現方法を高める「表現科」の授業
- 社会性を育む「コミュニケーション・スキル・トレーニング」の授業

問合せ/指導室 ☎481-7718

●【調布市教育委員会いじめ問題対策協議会（令和2年10月23日開催）】学識を有するもの、法律・心理・福祉等に関する専門的な知識を有する者、警察、児童相談所、小・中学校長会長を構成員とした協議会を設置し、いじめ問題への対策や関係機関及び団体との連携について協議を行っています。

令和3年度就学援助申請受付 4月からスタート！ ～希望される方はお忘れなく！～

児童・生徒が学校で等しく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、給食費や学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。
希望される方は、学務課へ申請の手続きをお願いします。

問合せ／学務課☎481-7473



対象者は

調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

- いずれか1つに該当する方が対象です。
- ・世帯全員の市民税が非課税である。
- ・児童扶養手当を受給している。
- ・世帯の所得の合計が基準額未満である。

(収入・所得額の目安) 給与所得・賃貸住宅の場合

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約391万円	約481万円	約552万円	約640万円
所得例	約268万円	約340万円	約397万円	約467万円

※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。

他の要件もありますので、市ホームページをご確認いただくか、学務課へお問合わせください。
<トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金>からご覧ください。

申請の手続き

①お知らせ・申請書の配付

毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。その他、学務課で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。
<トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金>からご覧ください。

②必要書類

- ・申請書
- ・必要な証明書等のコピー（必要な方のみ。申請書の裏面をご確認ください。）

③提出方法

調布市教育委員会学務課へ持参又は郵送

④受付期間

4月分から支給を受けたい場合は、令和3年4月30日(金)までに提出してください。
この期間以降に申請し、認定となった場合は、申請を受け付けた月の翌月分からは支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。

援助の内容

給食費・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・新入学準備金・移動教室費・修学旅行費・卒業記念品費・体育実技用具費・通学費・医療費
※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、4月に配付するお知らせをご確認ください。

【支給金額の例(年額)】

- ・小学校6年生 約16万円
- ・中学校3年生 約18万円

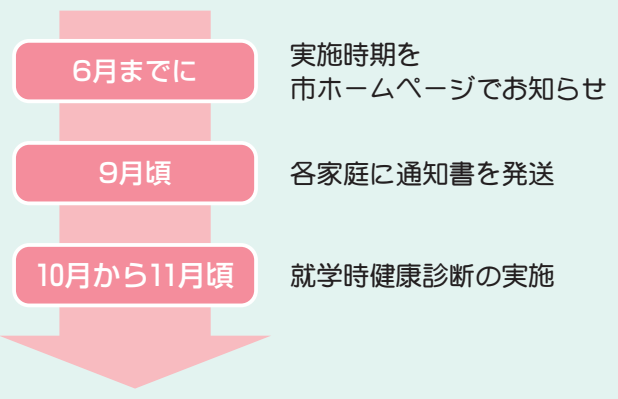
就学時健康診断をお知らせ

令和4年度に調布市立小学校へ入学予定のお子さんを対象に、今秋、就学時健康診断を実施します。

詳細は、各家庭あてに9月頃に発送する通知書をご覧ください。

なお、実施時期については、6月までに市ホームページでも公表します。

就学時健康診断は、お子さんにとって就学前に入学予定の学校に慣れるための貴重な機会ともなりますので、ぜひご受診いただくようお願いいたします。



問合せ／学務課☎481-7475

給食費の納入をお願いします

学校給食の運営については、学校給食法の規定により、実施に必要な施設・設備の整備費、人件費、光熱水費などは市が負担し、給食食材調達の原因となる食材費を給食費として保護者に負担いただいております。

給食費の未納がありますと、食材の発注や給食会計処理に影響しますので、引落口座残額を確認いただき、期日までの納入をお願いします。

問合せ／学務課☎481-7476

令和3年度 調布市防災教育の日 4月24日(土) 市立小・中学校 全校一斉実施



教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校で一斉に実施しています。



避難訓練
(令和元年4月)



感染症を講じた避難所受付訓練
(令和2年7月)



令和元年台風19号発生時の市内避難所の様子

当日は調布消防署、調布警察署や防災活動に取り組んでいる講師などによる防災講話や「命」の授業(オンラインによる授業等を含む)、避難訓練等を行うとともに、令和元年の台風19号における避難所開設時の課題や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、市職員等による避難所開設訓練を体育館等で行う予定です。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校公開は行いません。また、感染症等の状況により中止となる場合があります。

※詳細は、市報ちょうふ、市ホームページ等をご確認ください。

【あなたの手元にも防災対策を】

災害が発生しても、事前の準備があれば、自身の安全を確保することができます。東京都では、「東京都防災アプリ」からいつも・いざというときにも役立つ情報を配信しています。楽しみながら防災の基礎知識を得られるなど、災害時に役立つコンテンツが掲載されています。詳しくは東京都防災ホームページをご覧ください。

「東京都防災アプリ」ホームページ 二次元コード



問合せ／教育総務課☎481-7465

●【教育委員会の会議を傍聴しませんか】定例会は原則として毎月第4金曜日の午前10時から開催しています。傍聴を希望される方は、会議当日に教育会館3階研修室へお越しください。(会議日程は変更となる場合があります。詳しくは市ホームページをご確認ください。)